
▲△1：核兵器を世界から無くそう!!

2月の労山・全国評議会での特別決議

日本勤労者山岳連盟は、「平和でなければ登山はできない」とのスローガンを掲げて、何よりも世界平和を大切にしてきました。1月22日に、国連の核兵器禁止条約が発効し国際法となりました。2月20日～21日に開かれた全国評議会では特別決議を採択し、日本政府に対して「核兵器禁止条約を批准する」ことを求めました。（「平和な世界、安心できる登山を実現するために 核兵器禁止条約に日本政府が署名・批准することを求める決議」＝添付参照）。ぜひ、皆さんの山岳会・ハイキングクラブでも、この決議を会員に紹介していただきたいです。

先日のニュースで、イギリス政府が中国やロシアとの対抗を念頭に、イギリスの核弾頭保有数上限を「180発から260発へ44%も引き上げる」と決めたことが伝えられました。

最近の中国やロシアの覇権主義的拡張主義は目に余るものがあります。しかし、だからといって、核兵器で対抗するのはあまりにも無謀で、時代錯誤ではないでしょうか。核兵器は、もしも使用されれば世界中に悲惨さと破滅をもたらし、どんなことがあっても、使うことも持つことも許されない兵器です。それだからこそ、いま世界中の人々が核廃絶を願い、国連の場も決議され発効しました。それなのに、本来、その先頭に立つべき被爆国・日本の政府は、あれこれと理屈をつけてこの条約を批准しようとしていません。私たちはこうした世界の動きのなかで、「核兵器禁止条約への署名・批准を」の声を高めるべき時です。

▲△2：地方連盟総会

工夫をこらし時間短縮して、各地で開催

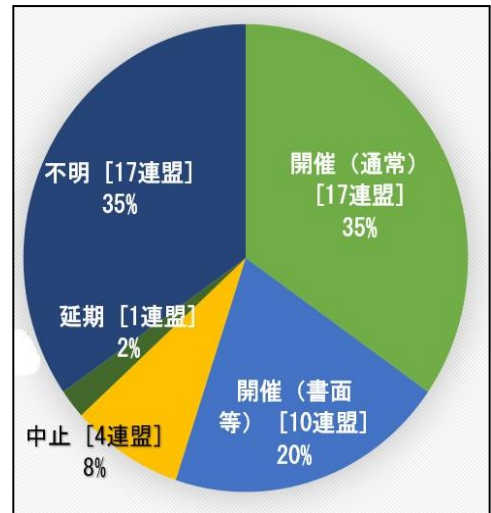
例年、3月から4月にかけては、全国の地方連盟で総会が開催され、新しい活動方針と役員体制が決められます。

昨年は、グラフのように、コロナ禍の広がり重なって（2/27安倍首相・全国一斉学校休校を要請 緊急事態宣言 2020年4月7日～5月25日発令）、総会の中止や書面決議への切り替えを余儀なくされた地方連盟も多くありました。しかし今年は、第2次緊急事態宣言の発令が全国1都10県に限られたことや、コロナへの対処の仕方がわかってきたことなどもあり、各地方連盟で参加者を絞ったり、委任状の受付、開催時間を半日程度（3～4時間）に短縮する、広い会場を用意する、などの工夫や対策をこらして、総会が開催されています（表参照）。

●東京都連盟で女性理事長誕生

3/6(土)に行われた東京都連盟(109団体2466名)では、新理事長に初めて女性理事長(松野千代加=まつのちよか)が選出されました。

これまで兵庫県・奈良県・広島県連盟で女性理事長が誕生していました。現在、現職の女性理事長は滋賀県、静岡県について3人目、東京都連盟では初めてです。また、事務局長は静岡県、兵庫県、岡山県、高知県の4地方連盟で女性が選ばれています。



昨年(2020年)の地方連盟総会開催状況—全国連盟組織部調査

2021 地方連盟 総会一覧

日程	地方連盟名	場所	時間	訪問全国役員
1 3月6日	東京都連盟	アミューホール(清瀬市)	10時~13時	久保副理事長
2 3月7日	北海道道央	札幌市「かでの2.7」		メッセージ
3 "	岩手県連	いわて生協ベルフ仙北	10時~13時	メッセージ
4 "	群馬県連	群馬県生涯学習センター	~12時	メッセージ
5 "	長野県連	佐久市「市民創練センター」	12時半~15時半	浦添理事長
6 "	静岡県連	長田生涯学習センター		メッセージ
7 "	滋賀県連	大津市ふれあいプラザ	13時~16時50分	メッセージ
8 "	奈良県連	大和郡山市市民交流館	13時~	メッセージ
9 "	京都府連盟	京都教育文化センター	13時半~15時半	メッセージ
10 "	和歌山県連	和歌山市北コミュニティセンター	13時半~	メッセージ
11 "	山口県連	山口県教育会館	9時半~11時半	メッセージ
12 "	香川県連	善通寺市民会館	13時~	メッセージ
13 3月14日	栃木県連	とちぎ健康の森	9時~12時	久保副理事長
14 "	新潟県連	たもん荘	9時半~12時	メッセージ
15 "	福岡県連	博多市民センター	13時半~16時半	浦添理事長
16 3月28日	岐阜県連	関市勤労会館	10時~	メッセージ
17 "	広島県連	広島市中央公民館		メッセージ
18 4月4日	大阪府連	大阪労会館		メッセージ
19	埼玉県連	文書決議		
20 5月9日	愛知県連			
21 5月23日	岡山県連	岡山県国際交流センター		
22 6月	茨城県連			

▲△3 : 労山 60 年史（「労山の 60 年」）を全会員に 長野県連が取り組み

労山 50 年の歴史をまとめた歴史書「労山の 60 年」と「60 年史年表」が、好評発売中です。

この二つは、労山創立 60 周年に合わせて、昨年 11 月に行われた記念レセプション時に公表されたものですが、その後、有料で販売され、全国の会員や、労山外部からも続々と注文をいただいています。

長野県連では、労山の成り立ちをすべての労山会員に知らせ、労山への理解を深めてもらおうと、「労山の 60 年」を長野県連会員の一人ひとりの自宅に送り届けることを決めました。全国連盟事務局ではこれを受けて、送付先の会員の住所・氏名をエクセルの一覧表にしてもらい、あて名ラベルを作成して一通々々封筒に貼り、郵送しています。代金は、長野県連が一括して入金してくれます。

他の県連でも、同様の取り組みが可能です。代金は、何冊かまとめて送っても、一冊ずつバラバラに自宅宛て送っても同一（「労山の 60 年」だけなら送料込みで 1 冊 500 円、「60 年史年表」とセットなら 1 セット 600 円）です。冊子の残部数は、まだ十分にあります。ぜひ、労山の歴史を会員に広めるために、各地でご活用ください。

▲△4 : 労山と新日本スポーツ連盟が協力 新しいトレッキングクラブが誕生

宮城県では、労山と新日本スポーツ連盟が協力して、新しい会が誕生しました。その名を「みやぎトレッキングクラブ」（創立時会員数 8 名）といいます。その結成に至るまでの紹介が、新日本スポーツ連盟の機関誌

「スポーツのひろば」
2021 年 4・5 月号
に掲載されて
いましたので、
ご紹介します。

宮城県連盟
トレッキングクラブ結成!

Mountain Climbing

昨年夏から会結成プレ山行の経験を重ねて10月に新しいトレッキングクラブを結成しました。会員は現在10人。中高年になると健康に不安、少しでも身体を動かさなくては、今まで見たことのない景色も楽しめるトレッキングは一石二鳥、と入会されています。宮城労山(宮城県東部労者山岳連盟)のベテランお二人に協力と入会を頂き、スポーツ連盟と宮城労山にも加盟しました。

会結成記念山行は宮城、岩手、秋田の三県県境にまたがる、秋は紅葉が素晴らしい栗駒山でした。初夏は残雪とお花畑、秋は紅葉、山麓には温泉と魅力あふれる山です。

曇り空のイワカガミ平を発着する東栗駒コースから中央コース。途中100m程の渡渉を初体験。気持ち良い広い尾根道の東栗駒山頂から傾斜がきつい栗駒山山頂へ。昼食

後下山すると青い空と絨毯のような紅葉の景色に一回歎声!「山は初心者」と自認する皆さんも、いっぺんに山の素晴らしさに魅了されたようです。

近く入会を希望している人もおり、引き続き会員を募集中です。(大友津代・宮城県連盟「スポーツ文化」より)